

会津・漆の芸術祭記録サイトの制作

a2200908 大八木美穂・a2200918 田中夏紀・a2200920 戸巻明日花
a2200922 橋本麻美・a2200923 深谷貴史

【研究の背景】

2010年秋、全国初の「漆」をテーマとした「会津・漆の芸術祭」が開催された。

会津は日本有数の漆産地であり、会津漆器は国の伝統工芸にも指定されている。しかし、近年では日本人のライフスタイルの変化や少子高齢化による漆職人の後継者不足が原因となり漆産業の低迷化が懸念される。会津・漆の芸術祭は、会津の漆文化をより多くの人に知ってもらうために開催されたものである。

この芸術祭では、アーティストと職人のコラボレーションなど新しい試みがされ、これまで培ってきた会津の漆文化や漆のこれからの可能性を考える良い機会になると期待されている。

【研究の目的】

この芸術祭を通して、私たちにも何か出来ることはないか？そう思った私たちは、会津・漆の芸術祭の記録サイト制作を考案した。

- ・第1回目の会津・漆の芸術祭の取り組みを記録し、第2回目以降の会津・漆の芸術祭の参考になるものを制作する。
- ・会津大学短期大学部でも芸術祭に関わっているの、それらについても紹介していく。
- ・今まで学んできたことを生かして、会津の漆文化や漆を用いた新たな取り組みがわかりやすく伝えるコンテンツを制作する。
- ・私たちも会津・漆の芸術祭に関わることによって漆について学ぶ。

【研究・制作の過程】

研究テーマの決定(6月)

研究テーマを「会津・漆の芸術祭記録サイトの制作」に決定し、サイトの方向性や今後の研究スケジュールを決めた。

芸術祭への参加・取材・資料収集(6～11月)

芸術祭の準備期間～開催期間中は各イベントや作品展示会場へ赴き、作家さんへの取材、作品の写真や動画の撮影を行った。そしてその日の出来事を各自ブログにまとめていった。

取材の様子



参考サイトの調査(9月下旬)

様々な芸術祭サイトや芸術祭関連サイトを各自で調査し、そのサイトのどの点が良いと思ったかを互いに発表し合いながら自分たちのサイトを制作するうえで参考にした。

参考サイトの例



越後妻有 大地の芸術祭の里

<http://www.echigo-tsumari.jp/>
・写真の量が豊富
・サイトの雰囲気私たちが目指すものに合っている



あいちトリエンナーレ 2010

<http://aichitriennale.jp/>
・派手すぎずシンプルなデザイン
・豊富なコンテンツ数



第5回鎌倉芸術祭

<http://kamakura-geijutsusai.com>
・見やすいメニュー
・画像が雰囲気をわかせる



瀬戸内国際芸術祭応援サイト「こえびひろば」

<http://www.setouchi-art.jp/>
・TOPのFlashアニメーション



神戸ビエンナーレ 2011

<http://www.kobe-biennale.jp/>
・サイドの折り畳みメニュー



水と土の芸術祭 2009

<http://www.mizu-tsuchi.jp/>
・TOPページの大きな写真
・色がサイトの内容に合っている

役割分担(10月)

サイトを制作する際の役割を分担した。

- ・ディレクター：大八木...外部との連絡・全体のスケジュール管理
- ・デザイン：田中・橋本...サイトデザインの考案・制作
- ・Flash：戸巻...「会津と漆」(Flashコンテンツ)の制作
- ・動画：深谷...「イベント」に載せる動画の制作

サイトデザイン・各コンテンツ制作(10月～1月)

集めた資料をもとに、サイトのデザインやTOPに載せるコンテンツの制作を始めた。

中間発表段階でのサイトデザイン案



- ・作品が栄えるよう、背景の色を黒に
- ・TOPページにはFlashを使用する
バスが街中を走行している様子にし、バスの周りには芸術祭の作品を登場させる
- ・フォントはレトロっぽく
- ・バスをクリックするとブログに飛ぶ

<問題点>

- ・ブログのページが見つけない バスと同化している
- ・動画だけのページは必要か？
イベントと内容が被る部分があるため
- ・リンクだけのページは必要か？
リンクの数が少ないため
- ・各メニューのページのデザインをどうするか
TOPの右下の隙間
コンテンツの構成 など
- ・背景が黒なので少し重い感じがする

最終成果物へ...

各メニューの構築(12月～1月)

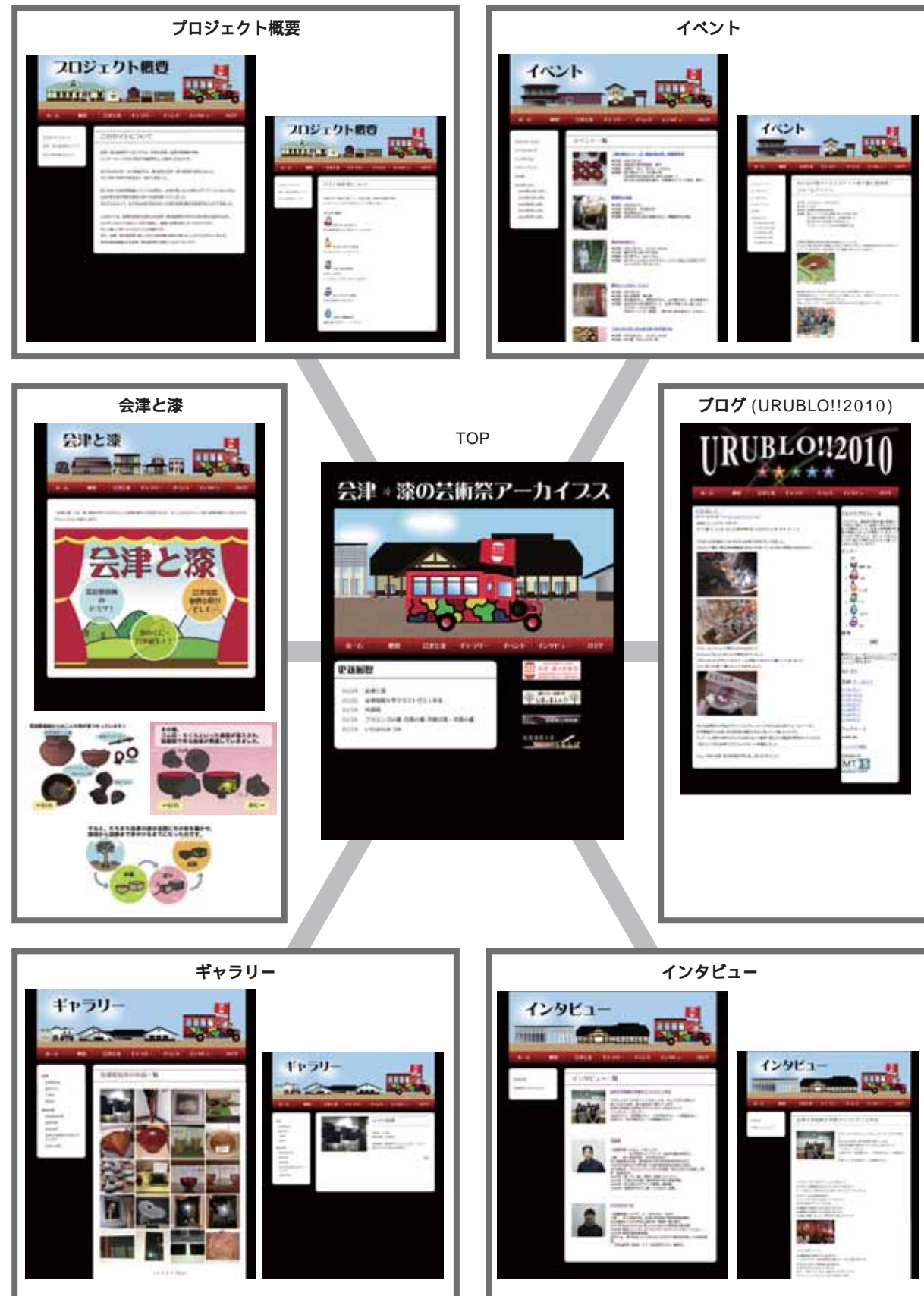
取材内容や資料をまとめていき、出来上がった各コンテンツをWeb上に構築していった。

【最終成果物】

『会津・漆の芸術祭アーカイブス』

・ URL : <http://iserv.jc.u-aizu.ac.jp/~urushi/artfes/>

・ 使用ツール : Adobe Illustrator CS3 ・ Adobe Photoshop CS3 ・ Adobe Flash CS3 Professional ・ Adobe Premire Pro CS3 ・ MTOS(Movable Type) など



<デザイン>

TOPのデザインは会津・漆の芸術祭と関連づけたもの、そして動きのあるものにしたいと思った。そこで、Flashを用いて会津大学短期大学部の学生がデザインしたボンネットバスが芸術祭の行われている街中を巡る様子表現した。また、各メニューのボタンは漆の質感を意識して制作した。

ブログのデザインは、親しみやすいポップなイメージと、漆の質(艶、色、蒔絵の模様)も出せるようなデザインを目指した。

<概要>

このサイトについて、会津・漆の芸術祭について、サイト制作者についての3つの項目を掲載した。

<会津と漆>

漆の歴史を大まかに3段階(縄文・桃山~江戸・江戸末期~現在)に分け、それぞれの時代でどのように会津と漆が関わってきたのかをFlashを使用して紹介した。

<ギャラリー>

会津・漆の芸術祭で展示されていた作品の写真を展示場所ごとに作品の説明と共に掲載した。

<イベント>

実際に私たちが参加してきた芸術祭関連で開催されたイベントの内容を掲載した。文章だけではなく、写真や動画などからどのようなことが行われていたのかを視覚的に伝わるようにした。

<インタビュー>

芸術祭に参加した会津大学短期大学部の先生方や学生に対して取材を行った。主に出品作品についてや芸術祭に参加してみた感想、そして次回に向けての抱負などを聞いた。

<ブログ>

自分達が芸術祭のイベントに参加し、感じてきたことをブログで紹介した。

【考察・まとめ】

漆に関して

今回の卒業研究を通して、芸術祭のイベント等に参加していく中で様々な漆の作品を見たり芸術祭に関わった人々に出会うことが出来た。その結果、漆の魅力(艶・色の深さ・歴史など)を知ることができ、漆に関する意識も変わった。特に漆は器だけのものだと思っていたが、芸術祭の作品を見たことで多様な使い方ができるとわかった。また、ワークショップなどには幅広い年代の方が参加しており、漆は意外といろんな人が扱うことが出来るということに気づいた。

今回行われた芸術祭は作品などを通して会津が漆の産地であるということを伝えており、私たち自身も漆が会津の地に現代でも深く根付いているということを知るための良い機会となった。

サイト制作に関して

グループ内で役割分担を決めたことによって作業がその役割の人に任せっきりにしてしまった。動画の字幕の統一感や各ページごとの情報量に偏りがあるなどグループ内でお互いの状況(進捗状況)を把握できない部分もあった。

計画的な制作ができず公開が遅れてしまったため、ブログのリアルタイム性がなくなり、グループ外からのサイトに関する意見が聞けなかった。(客観的な意見を取り入れることができなかった。)

今後の活動について

サイトの公開は、福島県立博物館の方々との打ち合わせの後(2月18日予定)になるので、客観的な意見をこれからさらに取り入れて改善(アンケートフォームの設置・公式サイトからのリンク以外の宣伝方法など)を行い、このサイトをより良いものにしていきたい。

